

基本目標4 施策1

リーディング事業の名称	事業内容	平成27年度中の取組
京都遺産制度等の推進	<p>京都のあらゆる文化遺産を抽出し、テーマやストーリーを持った文化財群として、立体的に再認識、再評価し、保護・活用するための制度を創設する。</p> <p>また、京都市独自の制度である“京都を彩る建物や庭園”制度、“京都をつなぐ無形文化遺産”制度を推進し、引き続き京都市内の文化遺産の維持・継承・活用に努める。</p>	<p>「まち・ひと・こころが織り成す京都遺産」制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月16日～12月15日 制度案についての市民意見の募集（116件応募） ・1月4日 「まち・ひと・こころが織り成す京都遺産」制度の創設 <p>“京都を彩る建物や庭園”制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月25日 新たに16件を選定，11件を認定 ・12月25日 新たに17件を選定，2件を認定 <p>“京都をつなぐ無形文化遺産”制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月2日～12月1日 「京のきもの文化」案についての市民意見の募集（114件応募） ・2月 「京のきもの文化」選定
学校給食における「和食」の充実に向けた取組の推進と情報発信	<p>「食」に関する指導の充実を図るとともに、学校給食を通じて子どもから家庭に届けられる食に関する情報が、家庭でのふれあいや体験を通してより確かな学びとなるよう、毎月配布する家庭配布用献立表に和食についての知識を深めるコーナーを設ける。</p> <p>また、家庭教育新聞やホームページ等の各種媒体を活用して、和食文化や、「和食」の特徴を強調した献立（「和（なごみ）献立」）を中心に給食献立のレシピ等を情報発信する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・6月から月1回程度，和食の特徴や良さがより伝わるよう工夫した「和（なごみ）献立」を実施 ・HPで「和（なごみ）献立」をはじめとする献立のレシピを公開するなど給食に関する情報を積極的に発信
まち・お店・ひと縁結びプロジェクト	<p>商業者と地域住民等が交流する機会をつくり，つながりを深めることで，商業者の売上向上と地域活性化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1月18日 イベント「マチオモイ女子に聞く！～私が思う商店街と街の魅力～」開催（予定） ・1月21日～3月18日 私のまち・私の商店街展開催

基本目標4 施策1

リーディング事業の名称	事業内容	平成27年度中の取組
日本のこころをつなぐ伝統産業振興・市町村共同プロジェクト	西陣と丹後など共通の課題を抱える府下関係市町村等と連携・共同した伝統産業振興方策を検討・推進する。	—
「京もの」の海外進出支援事業	京都の伝統産業製品の新たな需要開拓及び販路開拓を目指し、海外市場における新商品開発及びビジネスモデルの構築に向けた取組を支援することにより、京都が世界に誇る「京もの」の魅力を強力にアピールし、伝統産業の活性化を図る。	4月 参画事業者募集 5月 参画事業者を決定（18社） 6月～ 新商品の開発 9月 上海において見本市に出展 1月 パリにおいて展示商談会を実施，見本市に出展
「京都伝統産業ふれあい館」活性化事業	伝統産業製品の長期的な需要低迷が続く中、京都の伝統産業の普及・啓発する拠点である「京都伝統産業ふれあい館」において、同館の人員体制強化を行い、観光客を取り込むための事業や職人と他業種との異業種間交流会の開催などを実施する。	10月5日，12月4日，5日 工房訪問ツアー実施（STSフォーラム，鷹峯フォーラム） 10月，11月 新商品開発事業「RIMPA400」による作品を用いた特別展を実施（「ここにも琳派展」） 1月29日 第一回京都伝統産業ふれあい館サロン実施（職人と京都に暮らす外国人の交流会）
KYO-MONO is COOL!プロジェクト	日本酒での乾杯を通じた伝統産業製品の振興を目的に、伝統産業の将来を担う若手職人や市内酒造組合等で組織されたプロジェクトチームが取り組む、日本酒と京都の伝統産業製品（京もの）を組み合わせ商品開発や、継続的な販売の仕組みづくりを支援することで伝統産業の振興と後継者の育成を図る。	5月27日～6月9日 銀座三越での販売 6月17日～6月23日 日本橋三越での販売 9月22日 2015日本酒条例サミット出展 10月16日～10月18日 KYO-MONO is COOL!プロジェクトin清水焼の郷まつり 11月7日・8日 「京都知恵産業フェア2015～琳派400年記念～」での販売 ほか多数出展

基本目標4 施策1

リーディング事業の名称	事業内容	平成27年度中の取組
<p>学校教育をはじめ、あらゆる機会を通じた伝統的な文化芸術に触れる取組</p>	<p>一流の演者などの技能鑑賞や、歴史的にゆかりのある場所での文化芸術の鑑賞、文化財を修理する現場や発掘調査の体験など、「ほんもの」に触れる機会を創出し、京都の文化芸術を学ぶことにより、文化芸術の次世代の「担い手」、「支え手」を育てる。</p>	<p>6月～3月 京都で活動する一流芸術家を小学校等に講師として派遣するワークショップ「ようこそアーティスト 文化芸術とくべつ授業」において、伝統的な文化芸術分野における授業数を27年度から大幅に拡大して実施</p>
<p>「京都・和の文化体験の日」の実施など若者を対象とした伝統的な文化芸術に触れる機会の創出</p>	<p>若者が京都の伝統的な文化芸術に触れ、体験できる取組、「京都・和の文化体験の日」を実施する。</p>	<p>10月下旬 冊子『邦楽入門の入門』発行 12月12日～13日 「京都・和の文化体験の日」開催</p>
<p>若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくり</p>	<p>飛躍する可能性を秘めた若手芸術家等が京都のまちで活動を続けられるよう、さまざまな相談に対応する総合サポート窓口の開設、芸術家に適した空き家の紹介、閉校施設等の活用による制作場所の提供、専門家のネットワークによる発表活動の支援を行う</p>	<p>芸術家等の居住・制作・発表に関する総合サポートとして相談対応（通年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手芸術家等に空き家を紹介し、居住・制作の場を提供 ・閉校施設を活用した制作スタジオの運営 ・国内外の有力なキュレーターを招聘し京都の作家やアートシーンの紹介 ・地元のイベント等への参加

基本目標4 施策1

リーディング事業の名称	事業内容	平成27年度中の取組
京町家の保全・活用の推進	<p>京都の歴史・文化・町並みの象徴である京町家について、京町家まちづくりファンドや「京都市空き家活用・流通支援等補助金」制度、新たな資金調達手法であるクラウドファンディング活用事業による改修の促進、「京町家魅力発信コンテスト ムービーからムーブメントへ」により制作された映像を活用した需要層及び供給層の掘り起こしをはじめとする普及・啓発の推進、新たな支援策の構築等により、その保全・活用を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4月1日～3月31日 京都市空き家活用・流通支援等補助金 ・10月13日京町家まちづくりファンド改修助成事業 2件選定 ・京町家魅力発信コンテスト受賞作品を活用した普及・啓発 ・12月17日 市民も参加する公開審査会において、受賞作品を決定 ・3月～ 京町家まちづくりクラウドファンディング支援事業事業者の募集を開始
「地域に根差した暮らしの文化」を通じたまちづくりの推進	<p>区民提案により実施する京都市の支援事業のうちから「文化芸術による地域のまちづくり事業」を認定し、認定ロゴマークを掲げる取組を実施する。 また、地域の暮らしの文化を集約した「京都おもてなし百科（仮称）」を作成する。</p>	<p>2月 文化芸術による地域のまちづくり事業に認定された事業の結果をHPへ掲載</p>